

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 4月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	3790200046
法人名	医療法人社団 田村クリニック
事業所名	グループホームなぎさ
所在地	香川県丸亀市中府町4丁目12-19 (電話) 0877-43-5575

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年2月25日	評価決定日	平成21年4月6日

【情報提供票より】(21年1月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 20 年 4 月 1 日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7人	常勤 6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.8 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 1階建ての1階部分
------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	47,000円	その他の経費(月額)	15,000円
敷金	(有) 94,000円	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食 300円 夕食 500円	昼食 500円 おやつ 100円	
	または1日当たり	1,400円	

(4) 利用者の概要(2月25日現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 88.1歳	最低 84歳	最高 96歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田村クリニック 藤本歯科医院
---------	----------------


【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

幹線道路から一筋入った閑静な住宅街にありながら、近隣には公共施設が整っていて住環境に恵まれている。事業所は1ユニットで広い庭には菜園を兼ねた花壇があり、玉葱や花々が植えられている。玄関を入ると共有スペースが広がり、明るく清潔感があり空調も配慮され、利用者は穏やかな顔でゆったりと過ごしている。職員は明るくチームワークよく利用者の尊厳を保ち、家庭的雰囲気づくりに努め見守っている。医療連携体制が確保されており、安心した生活が送れる体制が整っている。地域に根ざした介護サービスを目指し模索検討している。これからの展開が期待される施設である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回、初めての評価であり、今後の取り組みを期待したい。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>日々の業務の中で各職員からの意見を求め、管理者がまとめるという形式で取り組んでいる。さらに、職員全員が自己評価の意義や目的を理解し取り組むことを期待する。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2~3か月に1回開催している。利用者の家族・自治会などの代表や行政の担当者の参加が得られるよう企画している。事業所の概要・活動内容・利用者状況などが周知・報告され、各出席者からも検討・提案が出されている。今後、定期的な開催を確保し、検討事項や懸案事項の話し合いを重ねることにより、サービスの向上につながることを期待する。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族が面会に来られやすい環境と機会づくりを心がけている。面会時間を利用して健康状態や生活状況を伝え、家族からの要望・苦情をうかがい、得られた意見・苦情は職員間で検討し、申し送り簿で全員が共有している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に入っており、地域との交流を育んできた法人の関連施設の取り組みを、うまく取り入れて地域のイベントに参加している。しかし、日常的な地域との交流はあまりなく、今後、利用者が地域の人々と馴染めるような機会・連携をつくり出せるよう期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念として、「地域医療に貢献し、科学的でかつ適正な医療および介護を提供することを目的とする。」と掲げている。ただ、事業所独自の理念として、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容に十分反映されていない。	○	利用者・社会的ニーズに応じた理念が求められている。地域密着型サービスとしての役割を目指した理念を、職員とともに考えつくりあげることを期待する。また、理念は見やすい所に掲示し、常に確認し取り組むことが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について管理者や職員間で話し合う機会が少ない。しかし、サービスの場では各職員が独自の理解のもと、法人の理念に沿った考えで取り組んでいる様子がうかがえる。	○	理念は職員一人ひとりが意義を理解し、日々の実践の中で共有化と具体的な介護の取り組みをしていくことを期待する。管理者と職員が理念を掘り下げて話し合い、何を大切に利用者に向き合うかを確認し、自らつくりあげた理念を具体化した介護に取り組むことを期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、利用者が地域のイベントに参加したり、職員がボランティアで参加している。また、母体の介護教室に参加するなど少しずつ地域の一員となれるような取り組みがうかがえる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を十分理解しており、今回、初めての評価の取り組みであり、職員の意見を集約して自己評価を作成している。職員は外部評価は公表されることにより事業所の発信源になる。また、紙面に記すことで学びとなると認識している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2～3か月ごとに開催している。参加メンバーに運営推進会議の意義や役割を理解してもらい、事業所の取り組みや現況についての理解や意見交換を行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも利用者の事例や運営上の相談に行き、指導を受け連携強化に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回新聞を発行して、事業所の様子を伝えている。面会時には暮らしぶりや健康状態などを説明し、ご意見や要望を聞いている。また、必要時にはその都度電話で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設置しているが利用はない。面会時には必ずお話をうかがい、家族の意見や要望などを聞き、迅速に対応している。朝礼時に送り簿などで職員に周知している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	定期的な異動はしていない。担当制を実施しておらず、離職などやむおえない時も十分な重複期間をとり、利用者との馴染みの関係に配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修は計画作成者の会には出席しているが、事業所内の研修計画や、事業所外の研修に計画的・段階的な研修受講の計画はうかがえない。	○	職員の質の向上のために、計画的に職員の段階に応じて施設内外の年間研修計画を立て研修を受ける機会を確保するなど、職員の育成が期待される。また、研修の復講や業務を検討する機会を確保することも期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の同業者との交流は個人的なつながりはあるが、同業者としての交流する機会は持っていない。	○	地域の同業者との交流や連携を通じて、サービスの質の向上に役立てるような実践の取り組みが期待される。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前の事業所の見学は家族のみの実施がほとんどで、早急なサービス開始の利用者も多い。ケアマネジャーが家庭訪問をし、初期計画を作成して馴染みながらのサービス開始へと配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の尊厳を保ち、利用者の思いを十分に受け止め、共に支え合う家族としての関係づくりを大切に取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の三大介護を中心に、利用者に寄り添い・看て・聴いて・感じ取って把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネジャーが中心となり、本人や家族の意向・主治医・関係者の意見を聞き、職員の意見や気づきを反映して利用者本位の立場に立った介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに定期的な介護計画は見直されている。また、状態の変化に即した計画の見直しがされている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者と家族の暮らしの継続性を守るための、多機能性を活かした臨機応変かつ柔軟な支援について、十分な検討までには至っていない。	○	利用者と家族が安心して暮らし続けていくために、必要な支援を介護保険サービスや自主サービスを活かしながら、事業所としていかに提供していくか検討されることを期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医の受診を希望される方は継続して受診している。その際は報告書を用意し持参してもらっている。協力医療機関と日常的に連携をとり、往診や緊急時の支援が可能である。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方については入居前に家族と話し合い「グループホーム・なぎさに於ける重度化に関する指針」を説明し、意志確認書を作成し、利用者に応じた方針を話し合う体制を整えている。本人や家族の要望に沿えるよう取り組む努力がうかがえる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを損ねない言葉かけや対応、カルテなどの個人情報の取り扱いなど個人情報保護法の理解や実践に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールはあるが、利用者の生活ペースを尊重して個別性のある働きかけをしている。入浴時間・朝食時間など柔軟に対応している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テレビを消し、ゆったりとした中でテーブルを囲み食事をしている。委託業者の栄養士による献立の食材が届けられている。配膳・下膳を手伝う利用者もおられる。行事食は好みを聞いて楽しみな食事となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は利用者の希望・体調に合わせ昼夜(遅出の職員がいるまで)の見守り入浴、介助入浴が楽しめるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や得意なことを活かし、配膳・下膳・畑仕事・施錠・写真係り・ごみ出しなど利用者が楽しみながら役割をはたせるよう支援している。また、季節に応じた行事・誕生会などの楽しみごとを利用者と相談しながら行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地は広く、日中、施錠していないため自由に出入りできる。その間、職員がそっと見守りの支援をしている。「宗教の信仰などでお地藏様に行く」など利用者の意向に沿った外出支援がうかがえる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていないが、状況確認のためにチャイムセンサーは設置している。目を離さない介護の姿勢がうかがえる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員は自治会・コミュニティの防災訓練に参加している。事業所の防火訓練を実施しているが、地域の方の参加はなく、緊急連絡網も用意していない。	○	早急に緊急連絡網の作成と共に、職員だけの誘導の限界を踏まえ、地域住民に事業所の災害対策に関する理解を求め、協力体制を整え地域に根付いた防災マニュアルの作成が望まれる。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は常に把握・記録している。外注先の栄養士によりカロリー計算がされていて、きざみ食など利用者の健康状態に合わせて支援している。体重測定は週1回行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関から明るく共有空間が広がり、対面式キッチン併設のリビングがあり、食事時には香りやキッチンの音に触れ楽しむことができる。窓は大きく自然光に溢れ静かで落ち着いた雰囲気が保たれている。畳のコーナーもあり休むこともできる。壁には利用者の手作りや写真が飾られている。また、居室前には個々の利用者の専有スペースがあり、思い思いの品が置かれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けられた押入れに衣類などが整理されている。各自、好みの物を配置し、馴染みの物を用いて居心地よく過ごせるような工夫がうかがえる。		